

『Lines of Sight ～それぞれのアジアへの視線～』

● PFWトップページ ● NPIトップページ

Title: 「旅は道づれ、余は満腹」

*Lines of sight*

～それぞれのアジアへの視線～



安孫子 仁
海外に6ヶ月も行く
のは初！！常に満腹
で生きるためにカメ
ラを肩にぶらさげ、
各国の「食」を追い
つづける。いつ何時
でも食べられそうな
ものを見たら口に入
れつつシャッターを
切る！！グルメ情報
大募集！！（安いもの限定）

● 最近のエントリー

- 陽と雨 in ラサ (2006.07.21)
- 隙間風 in インド (2006.07.06)

● アーカイブ

- 2009年10月
- 2007年02月
- 2006年10月
- 2006年09月
- 2006年08月
- 2006年07月
- 2006年06月
- 2006年05月
- 2006年04月
- 2006年03月

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

RSS 2.0

06.07.21

陽と雨 in ラサ

ラサに着いたはいいが…。ああああ…、頭痛でええ…。着いて早々いきなり高山病ですかい…。俺の身体、弱っ！！！！鍛えねば…。などの思いからスタートしたチベットのラサであります。気を取り直して（でも、やっぱ頭痛でえ…）、ラサに着いて一番最初に食べたものが、これ！！！ってほどのもんでもなかったけどね…。でも、思ったよりかなり安いし、量が多いんです。



ラサの街を散歩していると、「お！これがボタラ宮かあ～」。思ったより大きくてビックリ。





ポタラ宮が見える小さな丘（？）で絵を書いている人を見つけ写真を撮らせてもらった。こうゆうの結構好きかも。



そして、更にポタラ宮の前で記念撮影している人発見！！！！！
と、ということで写真を撮らせてもらいました。





ボタラ宮の中は撮影禁止だったので写真は撮れませんでしたが、見に行きました。兔に角仏像
が多かった...。まぁ、そんな感じでした (^__^ ;)

ジョカンというところにも行きました。ジョカンの前では両足と一緒に縛り下にダンボールや
ゴザなどを敷いてお祈りをしている人が沢山いました。もちろんジョカンの中にも入りました
よ。正直、普通の観光地かなと思いました。





ついでに、近くにあったので仏具であるマニ車も撮りました。

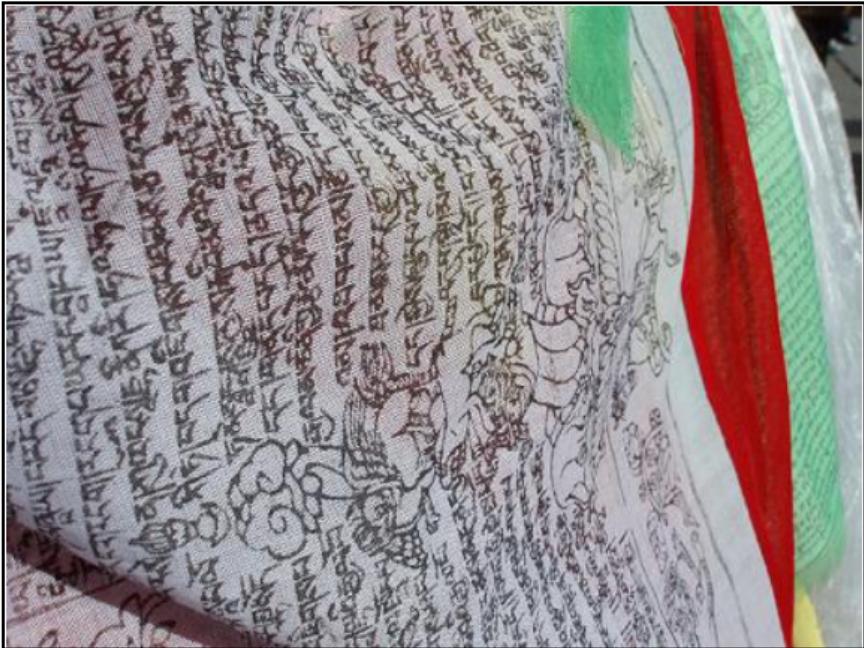


そして、ジョカンの目の前にある赤やら白やら青やらのいろんな色の文字が書いてある布がいっぱい包まっている鉄柱を見つけパシャリ。割とお気に入りの写真です。





布をアップで!!!!!!こいつにビックリなのは…、まったく読めねぇ～…。ということ。といっても、逆に俺が読めたら奇跡的だわ…。などと、訳の分からぬこと考えながらバシャリ。



まぁ、そんなこんなで初めてのラサの生活が過ぎていきましたあ～。

危うく、酸欠でぶっ倒れるところだったぜ…。

カテゴリ：

post by 安孫子 仁 | 日時: 2006.07.21 | パーマリンク | コメント (2) | トラックバック (0)

旅は道づれ、余は満腹 > 2006年07月 アーカイブ

06.07.06

隙間風 in インド

まぁ、いつも思うけどインド暑いねぇ～。どっか、涼しい場所を探す。隙間風が吹いてるところを見つけ一休み。で、相変わらずカレーだけは、受け付けずな日々。
こんな感じなやつ。





アップで。



<バラナシ>

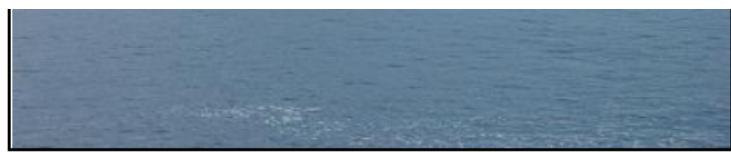
いよいよ、バラナシ。インドの旅で一番楽しみにしていたところ。暑さと、砂埃が舞いカメラがすぐに砂埃まみれ（こまめに掃除しなくては...）になるし息苦しくもあるが、目の前に広がるのはガンジス河。んなもん、気にしてる場合じゃない！！最初はガンジス河と言っていたものの、次第にガンガーと言うようになる。ってことで、以降、ガンガーと私は言う。

私が泊まったゲストハウスからガンガーが見える。ってか、目の前。



ガンガーデカい...。これが、ガンガーなんですね（泣）感動しました。とりあえず、ボートに乗る。いやあ～、気持ちいいわ。ゴロゴロ♪っと！！写真撮らねば！！！ボートこぎのおじさん。





ボートから火葬場を撮影。



ああ～、いつまで燃えてるんだろうお～…。黙々と、モクモク♪(なんてね…)



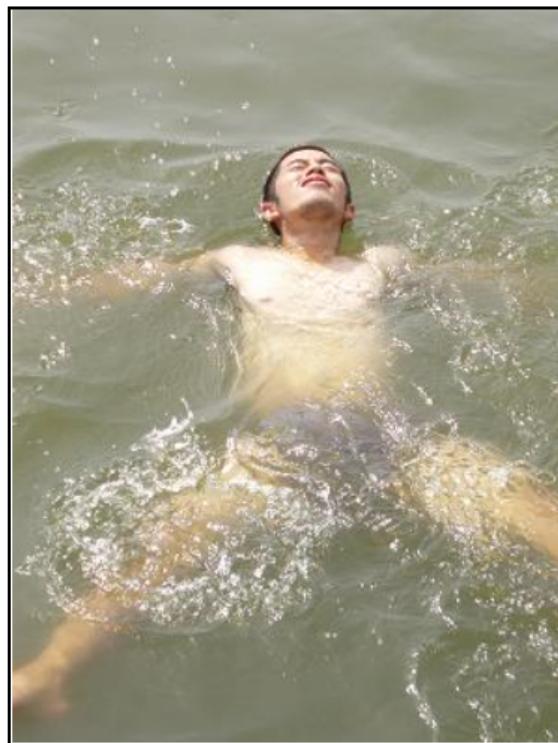
火葬場は煙が上がってるときは写真を撮ってはいけないが（遠くからならいいらしい）、火葬場があるガートに行き説明を聞ける。目の前には、死体。そして、人が焼かれている生々しい光景。人の顔、足、胴体。黒くなつて見えるところは薪ではない。人である（もちろん撮影禁止）。なんだかかな…。人の死…。はあ…。ダブって見える。泣きそうになるのをこらえる。俺は薄情なのか。その時、本気で考えた。日本に帰ったら会いに行こう。
薪置き場は撮影可能らしい。





にしても、ホントにボート気持ちよかったです♪

徳田さんのガンガー水泳。残念ながら俺は入らなかったが。



ガンガーに入った感想は？→「地面がヌルヌル、水は生ぬるい。」みたい。



夜は夜で凄い....。毎日がお祭りですか...？観光客（？）現地人（？）も多い。





撮影のため、ガート側を歩いていると、沐浴している人発見！！！急いで近寄る。しかし…
ツルッ！！ステンッ！！！ガガガガッ！！！！危うく、俺も沐浴するところだったぜ…階段を滑り落ち、後、数ミリでガンガーに落ちるところでした。間一髪。なんか、もお、泥だかなんなんだか緑色(藻?)のよくわからんえねえもんが服やらズボンやらにつきまくって冷たいやら気持ち悪いやらで…。ん？確かに、マレーシアのペナン島でも自転車こいでる時に転んだっけ…。まあ、いいや。

細い路地を散歩していると、おや？



ついついバシャリ。なんてゆうか、まあ、しょうがないんだよなあ…。





水が流れ、船が揺れる音。月の光。なんとも心地よいメロディ。ウトウト...Zzzzz。



そんなこんなで、ベナレス滞在の日々は過ぎていくのであった。

<アーヴラー>

列車に揺られ、アーヴラーに着きました。やはり、暑いの一言です....。しかも、なんだか、体が重い...?疲れか...?しかし、アーヴラーには世界遺産であるタージ・マハルがあるではないか!!!!

っことで、タージ・マハルへ。

いや...、本当にキレイ....、凄いです。なんてえか、とにかく感動です！！ガンガーに続き、感動の連続。ふと、思った。ガイドブックに書いてあったのだが、確かタージ・マハルはシャー・ジャハーン5世が奥さんのお墓として造ったもので、自分のお墓として黒いタージ・マハルを造るつもりだったが、息子に幽閉されて黒いタージ・マハルを造れなかつたみたいなことを書いてあったが、黒いタージ・マハルと白いタージ・マハルが二つ並んでいれば、どれほどキレイだったことか...。残念でならん。見てみたかった...。

アーヴラー・フォートからのタージ・マハル。





気づけば、アーヴラーはタージ・マハルしか印象に残ってねえ～（泣）　　ヤベ…。
こんなんでいいのか！！？？俺!!!!

あ、ほら！！あまりにもタージ・マハルが印象的過ぎて!!!!…、駄目だ…。

次、ガンバろ…。

インド、どこもかしこ暑いわ!!!!と愚痴る日々で、ミネラルウォーターが欠かせない日々
なのでありました。いつになったら、辛いカレー食べれるようになるんだろう…（ってか、一生無
理!!!!!!）。

隙間風、時には汗でヒンヤリと…。ハル、鍋いいね♪では、また。

カテゴリ：

post by 安孫子 仁 | 日時: 2006.07.06 | [パーマリンク](#) | [コメント\(5\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)